



いい町 利根町 あなた待ち

TONE

広報とね

2022年9月号



今月の表紙

表紙の写真は、3年ぶりに開催された利根町民納涼花火大会で撮影された写真です。コロナ禍で中止が続いていましたが、3年ぶりに開催されました。3～5頁で当日の様子を紹介していますので、ぜひご覧ください。



～利根町百景～

「日本の民俗学の父」と呼ばれる柳田國男が少年時代に過ごした旧小川家。布川にはその母屋と土蔵が再現された柳田國男記念公苑があります。

公苑内の土蔵の前には、國男が14歳の時に神秘的な体験をしたという石の祠があります。この体験は國男の著書「故郷七十年」に詳しく書かれています。

一歩足を踏み入れると、タイムスリップしたような感覚になれる敷地内。日常から少し離れた空間に、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

柳田國男記念公苑にある石の祠
 ▲ 利根町布川 1787-1 (柳田國男記念公苑敷地内)
 P あり
 ☎ 0297-68-7189

情報をお寄せください!!
 広報とね「利根町百景」は、読者の皆さまから寄せられた情報をご紹介しますコーナーです。利根町で見つけた美しい景色、珍百景、新百景など、利根町の魅力となる情報を写真付きでお寄せください。
【応募方法】
 写真および紹介文(250文字程度)をメールで下記まで送付してください。
 総務課秘書広聴係 ☎ kouhou@town.tone.lg.jp

第45回利根町民納涼花火大会
 8月20日(土)、「第45回利根町民納涼花火大会」が利根川栄橋下河川敷にて開催されました。

3年ぶりの開催となったこの日、あいにくの雨模様でしたが、たくさんの方が久しぶりの花火大会を楽しんでいました。

盆踊りの定番である炭坑節、利根町音頭、とねりん音頭に加え、ダンシングヒーローなどの懐かしい名曲を踊る「BONDISCO」が、会場を盛り上げました。

花火大会のオープニングを飾ったのは、日本伝統の江戸花火「和火」。科学反応で色をつける洋火とは異なり、オレンジ色の火の粉のみで色や形が表現され、約300年の歴史がある花火です。この和火を皮切りに、想いのこもったメッセージ花火、そして約1500発の花火が夜空を彩りました。

雨は最後まで降り続きましたが、花火の打ち上げは無事に終了し、利根町民納涼花火大会は幕を閉じました。

ずっと利根町で続いてきた、いつもの夏の風景。3年ぶりの開催となった今年は、少し特別なものを感じられました。



photo : Kentaro Shibuya

もくじ -contents-

広報とね 2022年9月号

- 2 利根町百景／もくじ
- 3 第45回利根町民納涼花火大会レポート
- 6 まちの話題 PHOTO NEWS
- 7 利根小学校通信
- 8 Pick UP !
- 10 暮らしの情報欄
- 17 ぼうさい掲示板
- 18 お知らせ -TONE Information-
- 24 日本ウェルネススポーツ大学通信
フリフリグッパ体操／とねワイワイくらぶ
- 26 SDGs 世界を変えるための17の目標
- 28 保健福祉センターだより／健康レシピ
- 30 こんにちは!! とね子育て支援センターですわが家のアイドル写真館
- 31 図書館へ行こう
- 32 とねまちプレイバック



「広報とね」では、高齢者や弱視の方を含む、すべての皆さまが読みやすい紙面とするため、視認性の高い文字「ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)」を使用しています。